

## 教育委員会の点検・評価（令和5年度対象）について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、全ての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理執行状況について、学識経験者の知見を活用して、自己点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この度、第3期群馬県教育振興基本計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）（以下「第3期計画」）に掲げた主な取組に基づき令和5年度の点検・評価を実施し、報告書がまとまったことから、公表するものです。

### 1 達成目標の進捗率

第3期計画における「指標」について、目標値に対して基準値からどれだけ進んだかを進捗率として表しました。

令和5年度は計画期間5か年の最終年度であり、全体の67項目に対して19項目が進捗率100%以上を達成しました。また、基準年度の数値より上昇したのは計36項目となっています。

一方、28項目については、基準年度と比べて数値が低下しています。傾向として、令和元年度末頃からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により取組を制限された項目（例：「母校の小学校におけるボランティアチューターに参加している高校生の人数（P.58）」、「特別支援学校の居住地校交流の実施率（P.88）」、「昆虫の森、天文台の入場者数（P.119）」など）の数値の多くがコロナ禍以前の水準に戻っていない状況があります。

取組ごとに個別の事情があるものの、コロナ禍を経た今後の社会のニーズ等を踏まえつつ、取組の見直し・改善を継続して行っていく必要があります。

#### 進捗率の状況

進捗率	100%以上	～80%	～60%	～40%	～20%	～0%	0%未満～	▲20%以下	—※	合計
項目数	19	1	3	2	1	10	5	23	3	67

※「—」は、進捗率の数値化に適さない指標

#### ○進捗率が良好であった主な指標

- ・（県立特別支援学校における）就労支援員が就業体験先として確保した企業数（P.27）
- ・公立中学校における英語力がCEFRのA1レベル相当（英検3級程度）以上の3年生の割合（P.37）
- ・日本語指導が必要な児童生徒に対して、指導についての計画を個別に作成するなどの取組を行っている学校の割合（P.99）

### 2 令和5年度の実績及び5年間の総括について

第3期計画の主な取組に基づき、教育委員会及び関係所属が行った取組を自己点検・評価し、対象の取組ごとに「令和5年度の実績」を記載するとともに、第3期計画の最終年度の点検・評価であることを踏まえ、「5年間の成果」及び「5年間の課題」を記載しました。また、取組の柱ごとに「5年間の総括」を記載しました。

### 3 群馬県教育委員会の点検・評価委員会

法律に定める学識経験者の知見の活用について、「群馬県教育委員会の点検・評価委員会」を設置し、委員（大学教授ほか計5名）からの意見を参考に点検・評価を行いました。

※教育委員会が所管する各取組の詳細については、各担当所属へお問い合わせをお願いします。